

石橋ハンター

贄田 岳和さん

「石橋のありそうな所は『におい』がする。川そのうち340基余りがあり、草が生えて、自然と同化して……」

休日を利用し、飛び抜けて数の多い九州を中心に石橋を探し歩いて3年。車で走った距離はまもなく10万キロになる。訪

れたのは計2524基。新発見の記録がない。新発見の石橋だった。

日南市でインタビューした2月25日も、途中の清武町で水路にかかるアーチ形の小さな石橋を見つけた。「国道を走って

快人がゆく

いて、何となく予感としてヒョイと横を見たんです。道路からは見えにくい石橋も、川辺に下りると立派なアーチを描いていることがあるという。

「石橋を見つけた時は喜びよりも、まさかという不思議な気持ち

にえだ・たけかず 54歳。宮崎市江平東町在住。日本の石橋を守る会員。大学生の次女智子さん(21)が石橋を卒業論文にすると聞いて楽しみにする。ホームページは<http://5travel-way.net/~niemon/index.html>

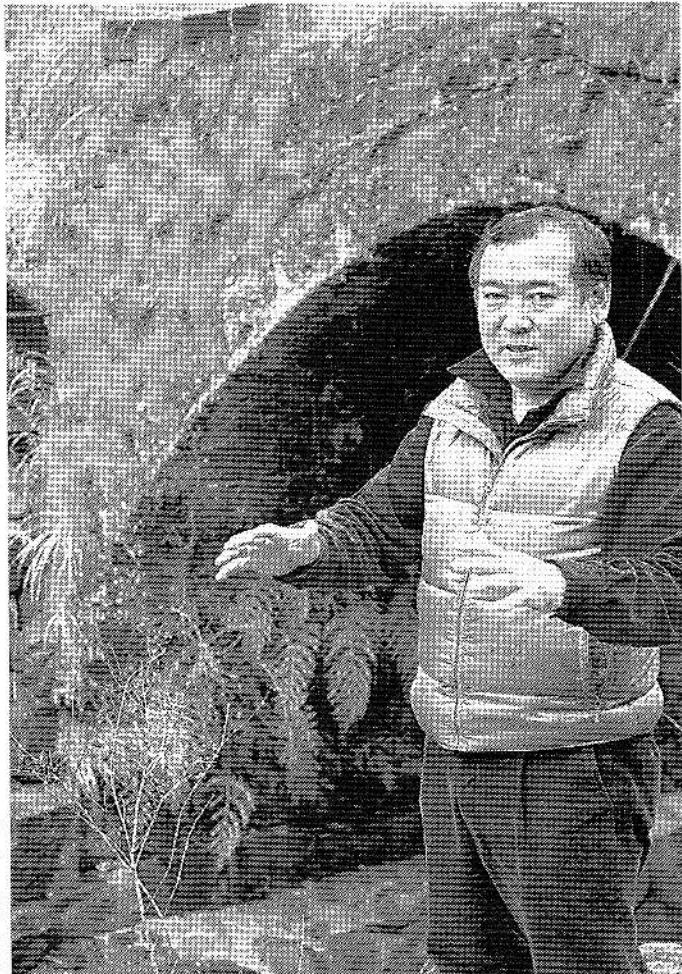
が先に立つ。いつも新鮮な驚きがあって、これが病みつきになる理由かな」

石橋には代表的なアーチ橋だけでなく、石板を渡したけた橋や、レンガ造りの橋なども。見つけたら大きさを計測し、写真に撮り、地図に位置を記し、近くの古老らに橋の由来を聞く。それらの情報を直ちにパソコンで

ホームページに書き込む。しかし、橋を造った町内75基のうち10基しかはさくわすか。また、険しい橋もある。きっかけは「石橋の町」とあった。「二日10基と

大分県院内町(現・宇佐市)を訪れた時だった。方もないけど、やってみるか」と思い立った。今はその数字をはるかに超えている。移築してでも残してもらいたい」と願う。

「新発見」求め10万キロ



石橋のアーチの構造を語る贄田さん
＝日南市酒谷の石原橋で



【塩満温】